

【参考資料1】

2013年度のレベル認定者の内訳は、現在の最高段位で、唯一のプロレベルであるレベル4が22名、プロを目指すレベル3が4名、レベル2が4名、エントリーレベルのレベル1が73名です。プロレベルの認定には、書類審査のほか、認定審査員2名による1時間の面接試験があります。レベル4には、農業者をはじめ、2次、3次の事業主、コンサルタント、大学教員、商工会職員など多彩な業種の方が認定されています。また、レベル1認定者のうち、71名は今年の春、農業高校を卒業した高校生です。

◆レベル4認定者（2014年4月17日現在）

都道府県	氏名	所属	属性
宮城県	庄司 和弘	ホライズンコンサルティンググループ（株）	コンサル
宮城県	針生 信夫	(株)舞台ファーム	生産者
秋田県	河村 守信	(株)河村地域活性研究所	コンサル
茨城県	藤本 隆幸	茨城県商工会連合会	商工会職員
栃木県	松本 謙	(株)ファーマーズ・フォレスト	事業者・コンサル
埼玉県	鈴木 栄治	(株)システムプランニング	コンサル
東京都	杉浦 孝則	(有)和乃家	事業者・コンサル
東京都	小野寺 正博	オノデラコンサルティング	コンサル
神奈川県	村上 一幸	(一社)農業経営支援センター	コンサル
愛知県	石川 明湖	オフィス・アイ	コンサル
愛知県	三枝 正彦	国立大学法人 豊橋技術科学大学	大学研究機関
愛知県	鈴木 裕己	(株)プロ・スパー	事業者
三重県	川原田 育生	川原田農園	生産者
三重県	高垣 和郎	(特非) 津市 NPO サポートセンターみえご縁市場プロジェクト/尽力舎	コンサル
岡山県	浅沼 悟	(株)ピュアボックス	事業者
広島県	大下 美幸	(株)クロスディパブリッシング	コンサル
愛媛県	戸田 高博	ルーツ	生産者
愛媛県	鎌田 秋吉	愛媛県あぐりすとクラブ	コンサル
高知県	松田 高政	(株)こうち暮らしの楽校	コンサル
高知県	森澤 錠二	(株)グラッツェミーレ	事業者
鹿児島県	本部 映利香	(株)ドゥーイット	-
沖縄県	永峯さゆり	(有)楽園計画 / (特非) 食の風	事業者・コンサル

◆レベル3認定者 4名（2014年4月17日現在）

- 「わかる」レベル3判定：34名
- 「できる」レベル3判定：25名

◆レベル2認定者 4名（2014年4月17日現在）

- 「わかる」レベル2判定：1名
- 「できる」レベル2判定：7名

◆レベル1認定者 73名（2014年4月17日現在）

【参考資料2】

食 Pro.の育成プログラムとして認証されたコースは、農業高校、水産高校から、大学の農学部、食品関係学部、地方公共団体、民間の研修機関、中小企業診断士協会まで、様々な主体により実施されています。地域による偏りが出始めており、今後は全国どこでも育成プログラムの受講ができるようにするため、さらなる育成プログラムの拡充が期待されます。

◆育成プログラム（2014年4月17日現在）

実施機関名	レベル1	レベル2		レベル3		対象地域
		(事)	(支)	(事)	(支)	
(一社)日本販路コーディネータ協会	○	○	○	○	○	北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県、沖縄県
北海道標茶高等学校	○	○				北海道
岩手県立水沢農業高等学校	○					岩手県
宮城大学食産業学部	○	○	○			宮城県
東北大学農学部	○	○				宮城県
(株)フィデア総合研究所	○	○	○	○	○	山形県
福島大学 地域ブランド戦略研究所	○	○		○		福島県
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター	○					茨城県、群馬県
(一社)日本イベントプロデュース協会	○	○	○	○	○	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
(株)パソナ農援隊	○	○	○	○	○	東京都
(株)早稲田総研インターナショナル	○	○	○	○	○	東京都
日本大学 生物資源科学部食品ビジネス学科	○	○				神奈川県
静岡県立焼津水産高等学校	○					静岡県
国立大学法人豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター	○	○	○	○	○	東海地域
甲子園大学	○	○	○			兵庫県
鳥取県立倉吉農業高等学校	○					鳥取県
宇和島市役所	○	○		○		愛媛県
福岡県中小企業診断士協会	○	○	○	○	○	福岡県、熊本県、大分県、長崎県、鹿児島県、佐賀県、宮崎県
九州大学大学院 生物資源環境科学府・農学部	○	○				福岡県
宮崎大学	○	○		○		宮崎県
(公社)宮崎県農業振興公社 6次化推進プロデューサー育成コース	○	○				宮崎県
(公社)宮崎県農業振興公社 グローバル農業法人育成コース	○					宮崎県

※ (事)：事業主・法人スタッフコース、(支)：支援スタッフコース

※ ○：各育成プログラムで取得可能な「わかる」レベル判定

【参考資料3】

平成 26 年度 食の6次産業化プロデューサー（食 Pro.）各種料金表

1. プログラム認証手数料（平成 26 年度版）

	審査手数料／回	更新料／回※	登録料／年
学校等プログラム	なし	なし	なし
その他のプログラム	10,800 円	10,800 円	10,800 円

※上記の費用は税込とする。

※更新料は、プログラムの変更がある場合の審査手数料

※地方公共団体が自ら実施するプログラムは、「学校等のプログラム」に含まれます。（自ら実施するとは、予算措置を行い、プログラムの内容、及び修了証の発行要件について監督権を持つことをいいます。）

2. 認定に係る費用（平成 26 年度版）

	「わかる」 評価手数料(A)	「できる」 評価手数料(B)	合計認定手数料 C=(A)+(B)
レベル1	8,640 円 ^{※3} (3,240 円) ^{※3}	—	8,640 円 (3,240 円)
レベル2	8,640 円 (3,240 円)	10,800 円 (5,400 円)	19,440 円 (8,640 円)
レベル3	8,640 円 (3,240 円)	10,800 円 (5,400 円)	19,440 円 (8,640 円)
レベル4		32,400 円 (16,200 円)	32,400 円 (16,200 円)

※1：上記の費用は税込とする。

※2：(括弧)の金額は被災地等の者に該当する方の割引料金

被災地等の者に該当する方は、以下のとおり

①特定被災区域に在住、在学又は在職している者

②現在は被災して特定被災区域外に避難している者であって、

将来、特定被災区域において6次産業化分野の業務に就くことを予定している者

※②の要件では、被災者であることを罹災証明書の写しをもって確認し、

将来、特定被災区域における6次産業化分野の業務に就く予定であることは、

本人からの宣言書の提出をもって確認する。

※3：高校生を対象としたレベル1の育成プログラムで、実施機関が「わかる」申請の手続きを10名以上取りまとめて行う場合には団体割引料金を適用。適用する場合の1人あたり「わかる」評価手数料は、5,000 円(税込)(被災地等の者：2,000 円(税込))。

3. 認証審査員講習会受講料（平成 26 年度版）

	参加費／回	更新料／回※	登録料／年
認定審査員講習会	32,400 円	なし	なし

※上記の費用は税込とする。